

各 位

上場会社名 トミタ電機株式会社
 代表者氏名 代表取締役社長 神谷 哲郎
 (コード番号 6898)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 太田 寛
 (TEL 0857-22-8441)

業績予想の修正及び特別損失・営業外費用の計上に関するお知らせ

当社は、平成24年3月14日開催の取締役会において、特別損失等を計上することを決議いたしました。また、これに伴い最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年3月24日に公表した平成24年1月期の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の修正について

(1) 平成24年1月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年2月1日～平成24年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,811	4	61	56	8.51
今回修正予想(B)	1,452	245	240	372	56.37
増減額(B-A)	359	249	301	428	
増減率(%)	19.8				
(ご参考)前期実績 (平成23年1月期)	1,602	205	187	433	65.58

(2) 平成24年1月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年2月1日～平成24年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,645	1	66	61	9.31
今回修正予想(B)	1,261	111	107	398	60.42
増減額(B-A)	384	112	173	459	
増減率(%)	23.3				
(ご参考)前期実績 (平成23年1月期)	1,536	88	63	683	103.50

(3) 修正の理由

<連結業績>

売上高につきましては、コイル・トランスの海外での販売が落ち込み、フェライトコアは、震災影響による自動車関連の受注先送り、年後半は景気低迷の影響で欧米向けの受注が急減するとともに、前年比で大幅な円高となったために日本円換算では大きく目減りし、全体としては前年を下回る見込です。

損益面につきましては、受注減少による稼働率の悪化並びに中国での原価上昇等により営業損失となる見込みです。また、為替差損の発生、減損損失の計上により、経常損失、当期純損失となる見込みです。

<個別業績>

個別業績の修正理由につきましては、連結業績において記載した理由と概ね同様ですが、関係会社株式評価損を特別損失として計上することといたしました。

(注意事項)

上記に記載した予想は、作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2．特別損失の計上について

(1)固定資産の減損損失について

平成24年1月期第4四半期連結会計期間において、当社が保有する電子部品材料製造設備の具体的な使用計画のない遊休資産について、帳簿価額を備忘価額まで減額し、減損損失122百万円を特別損失として計上することといたしました。

(2)関係会社株式評価損について

平成24年1月期第4四半期連結会計期間個別決算において、当社が保有する関係会社株式のうち、連結子会社であるTOMITA FERRITE LTD.の財政状態が悪化し、株式の実質価額が著しく低下しているため、減損処理を実施し、関係会社株式評価損133百万円を特別損失として計上することといたしました。なお、当該関係会社株式評価損は、連結決算においては消去されるため連結損益への影響はありません。

(3)たな卸資産廃棄損について

平成24年1月期第4四半期連結会計期間において、電子部品材料の貯蔵品について廃棄処理し、たな卸資産廃棄損36百万円を特別損失として計上することといたしました。

3．営業外費用の計上について

平成24年1月期第4四半期連結会計期間において、急激な円高の進行による為替差損が発生したため、為替差損49百万円を営業外費用として計上することといたしました。

以 上